

平成21年度 第5回 真田地域協議会 会議次第

平成21年8月24日（月） 午後7時

真田地域自治センター 301 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 真田地域自治センター長あいさつ

4 報告事項

・わがまち魅力アップ応援事業（追加募集分）審査結果について〔資料：事業一覧表〕

・市からの報告事項

5 会議事項

(1) （仮称）真田地域バス運行改善計画について （建設課）

(2) まちづくり活動拠点について

・集計結果について 〔資料：調査報告書〕

(3) 分科会別協議

(4) その他

6 その他

第6回開催日（案）について

平成21年9月24日（木）午後7時～

7 閉 会

平成21年度 上田市わがまち魅力アップ応援事業 追加申請 採択事業一覧表

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
団体名	上田市グラウンド・ゴルフ協会	上田城の金箔鯉瓦を復元しようの会	ワールド街推進委員会	上田商業21世紀会	武石炭人会	ヤマンバの会	NPO法人しなの生活支援倶楽部むつみえん	長野大学古田ゼミナール	市民交流行列プロジェクト実行委員会	UFMGroup	真田ファンクラブを作ろうの会	西塩田地区振興会	NPO法人遊び塾 with you-with me	六ヶ所会議 in うえだ	三吉米熊生誕150年祭実行委員会
代表者	猪飼憲二	高橋今朝男	斉藤孝	寺島秀則	鶴岡一生	手塚正道	山田文江	清住浩一	宮下博一	池松勇樹	中田秀訓	東川英樹	秦健二	藤川まゆみ	島喜治
事業名	グラウンド・ゴルフでときめき隊	上田城の金箔鯉瓦を復元しようの会	食を仲介とした多文化共生促進事業	ハッピーハロウィーン in UEDA 2009	伝統炭焼き復興事業	マダラヤンマ(市天然記念物)の歌の製作と普及活動の展開	ギネスに挑戦?振る舞い流しそうめん。ドキドキ信州そば!! 激アツ、冷やし中華!!!	地大根の普及による上田の食の魅力づくり	目指せ上田城! 市民交流行列プロジェクト	家族対抗 花札「こいこい」選手権大会 サマーウォーズ杯	真田ファンクラブを通じた真田ブランド魅力アップ事業	ふるさと、地域を語り伝える伝承の里づくり事業	地域コミュニティから生まれるストレスに強い上田の元気な子ども育成事業	具体的に考え実践していくコミュニティづくり事業	三吉米熊と亶都上田米熊が残した資料からみる亶都上田
実施場所	市内各地	上田城	上田市天神	上田市内(中心商店街)	市内各地(武石栗栗)	市内各地(塩田平)	上田城跡公園	上田市内	上田市内(真田→上田城)	創造館	全国へ発信	塩田平	上田市内	上田市内(中央公民館)	上田市内(情報ライブラリー)
補助申請額	553,000	600,000	1,000,000	540,000	780,000	298,000	392,000	542,000	1,000,000	332,000	981,000	400,000	1,000,000	272,000	1,000,000
協議会の結果	採択	条件付採択	条件付採択	条件付採択	条件付採択	不採択	不採択	採択	条件付採択	不採択	不採択	条件付採択	採択	条件付採択	採択
最終審査結果	採択	条件付採択	条件付採択	条件付採択	条件付採択	不採択	不採択	採択	条件付採択	不採択	不採択	条件付採択	採択	条件付採択	採択
内示予定額	553,000	600,000	1,000,000	540,000	780,000	-	-	542,000	1,000,000	-	-	400,000	1,000,000	272,000	1,000,000
協議会から提出された採択の条件		①実際に確からしいことは伺えるが、専門的な鑑定(証明)を取付けれること。 以上検討のうえ交付申請すること。	①外国人の自立支援を全面に出して取組むこと。 ②市・保健所等関係者と協議し、問題のないよう努めること。 ③特定の者だけの活動とならないよう、広く国際交流の推進を図ること。 以上検討のうえ交付申請すること。	①県採択事業とは違う新たな内容を取入れた取組みを図ること。 ②旧市内だけでなく全市的に広報をすること。 ③4商店街の協力体制の確立を図ること。 以上検討のうえ交付申請すること。	①参加者の危険防止に十分配慮した取組みとすること。 ②武石地域に限らず、市内の多くの方を巻き込んで実施すること。 ③長期の活動になるので今後も継続していくこと。 以上検討のうえ交付申請すること。				①御霊は宗教的なイメージが強い(異なる表現で実施すること)。 ②道中の交通安全対策に配慮した計画とすること。 以上検討のうえ交付申請すること。			①県採択事業にはなかった新たな内容を取入れること。 ②前回塩田地域の審査で課題となっていた研修計画・研修者の活用を検討し、どのように地域振興に結びつけるかを検討すること。 以上検討のうえ交付申請すること。		①今後、六ヶ所村のことだけに限らず広い視野でいろいろな意見の方を受け入れる柔軟な活動を展開すること。 ②そのためにも、上田地域の多様な意見を持った方も巻き込んで実行委員会を組織して取組むこと。 以上検討のうえ交付申請すること。	
協議会から提出された意見等	①他のスポーツと違い、車イスでも一緒に参加できるという独自性を大いにPRして実施していただきたい。	①技術の継承を可能とする努力を行っていただきたい。 ②賛同する方の寄付を検討されたい。						①今後、山口大根に限らず上田の農産物の地産地消を進める取組みも展開していただきたい。	①長時間にわたる行列のため道中の地域の方を巻き込んだ取組みとしていただきたい。				①継続性が求められる事業であり、補助が無くなる次年度以降の計画も検討されたい。 ②個人差はあると思うが、可能ならばどの程度の状況まで回復させるという目標を定めて実施していただきたい。		①今後も継続して市民の皆さんへ資料の公開等を行っていただきたい。
上田市からの意見等	①上田市、教育委員会の事業共催の申請を検討されたい。				①実施に当たっては関係事務局と協議のうえ取組んでいただきたい。	①CDを配布する場合は、事前に市教育委員会と協議を行ってください。	①流水を使用した場合、地面や堀に捨てず下水道に流す等処理を行ってください。 ②仮設の際、石垣・お堀の法面を傷めないで行ってください。		①来年度以降、真田幸村ロマンワークや真田街道のろしプロジェクト等と連携を図り、さらに多くの方が参加可能となるよう、つなげていっていただきたい。			①地元の授業や公民館活動とも連携ができるような取組みとなることを期待したい。		①出来上がった冊子等を学校に配布する場合は、事前に市教育委員会と協議を行ってください。	
不採択の理由						①マダラヤンマの保護に関する取組みは評価できるが、事業内容がCD製作中心である。 ②学校に対しても、配布するのみで具体的な活用が不明確である。 ③幅広く効果的な計画を再検討されたい。	①やぐら守前から公園下までホースでそうめんを流す計画は、流れているものを皆ですくって食べるという流しそうめんのイメージと違い、盛り上がりが見込めない。 ②現在の計画で9月に1,000人を集めるということは技術的に困難と思われる。 ③時間をかけ市民参加により市全体が元気になる計画となるよう再検討されたい。			①サマーウォーズの映画上映に「こいこい」が重要なゲームとなっている点は理解できるが、補助金で全市的な大会をすることには賛同できない。 ②参加者が16組ではあまりにも対象者が少ない。多くの市民参加が可能な事業を検討し再チャレンジして欲しい。 ③同様のメンバーによる応募となっているが、一体のものとして協力した事業企画を検討していただきたい。	①事業の発想としては良いがパンフレットの作成が中心になり過ぎている。 ②他団体との連携について市内外へ同時に目を向けながら取組んでいただきたい。 ③同様のメンバーによる応募となっているが、一体のものとして協力した事業企画を検討していただきたい。				





(仮称)真田地域バス運行改善計画について

〔主 旨〕

真田地域内のバス運行について、より良いサービス提供のため、“(仮称)真田地域バス運行改善計画”として、その内容を検討し提案する。

〔経 過〕

“上田市公共交通活性化協議会（H20.3 設立）”に基づき、真田地域での公共交通(バスが対象)のサービス向上について、真田地域自治センター職員によるプロジェクトチーム（真田地域バス運行改善検討会議）を立ち上げ、さまざまな意見・討議をしてきました。

〔計画の内容〕

(1)基本的な考え方

○現在のバス運行の枠組みを変えないで、これを発展させる形としたい。

- ・ 真田地域と上田市街地を結ぶ路線バス(上電バス：菅平線・真田線・傍陽線)の運行数を考慮すると、これらをより利活用することを考える。
- ・ 「ふれあいバス」は、引き続き、“無料”で運行する。
- ・ バスのサービスが薄いと思われる、本原地域を重点に検討する。

(2)改善計画

○ふれあいバス ⇒真田地域内を連絡する路線として活用を図る。

- ・ 運行ルートの変更（資料 1-1、資料 1-2、資料 1-3）
- ・ ニーズがある場所での降車を可能とする。

○路線バスの改善 ⇒本原地域（主に県道矢沢真田線沿線）にバス路線を設定する。

- ・ 運行ルートの変更（資料 2）

※現行では、国道 144 号の真田自治センター入り口から上田駅までは、1 日に最大 37.5 往復が通行している。

このうち、傍陽線（平日 16.5 往復）を本原地区へ振り替える。

- ・ 停留所等、詳細な計画は、上電バスにて検討する。

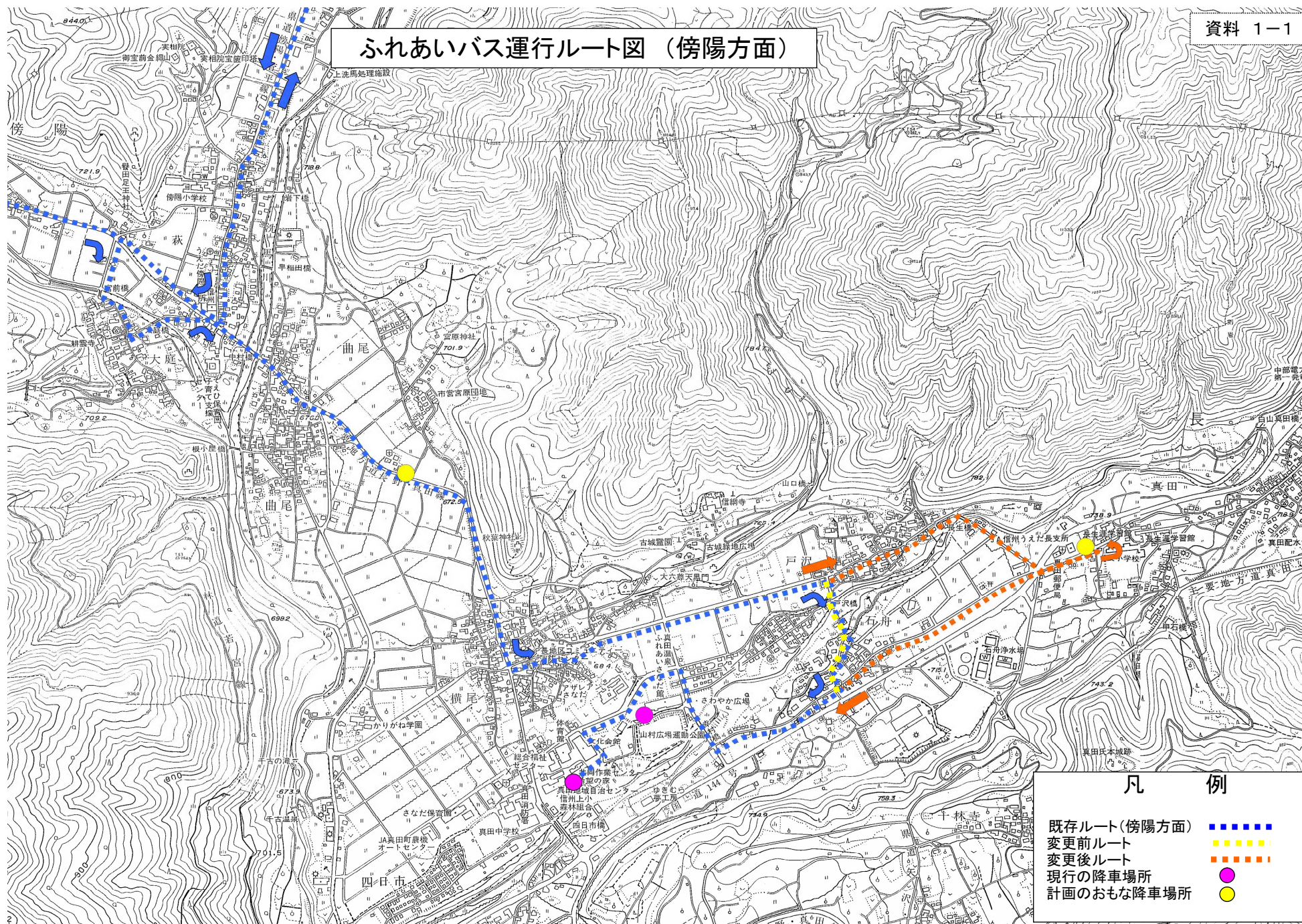
〔課 題〕

- ・ ふれあいバスについて、すべての地域から同じサービスとなる訳でない。
- ・ 路線バスは、特に傍陽地区の方においては、現行ルートでの利用について変更が生じる。
- ・ バスの運行上、安全確保のため、道路改良事業が必要と考えられる。

〔今後予定〕

- ・上電バス(株)との運行に係る協議・調整が必要。
- ・関係地域への説明および協議により意見の収集し、実施の可否を決定したい。
- ・実施が必要となれば、平成 22 年度に実施（試験運行）としたい。
- ・試験運行について、乗車人数・収益など運行状況を評価し、その後の対応を検討することとなる。

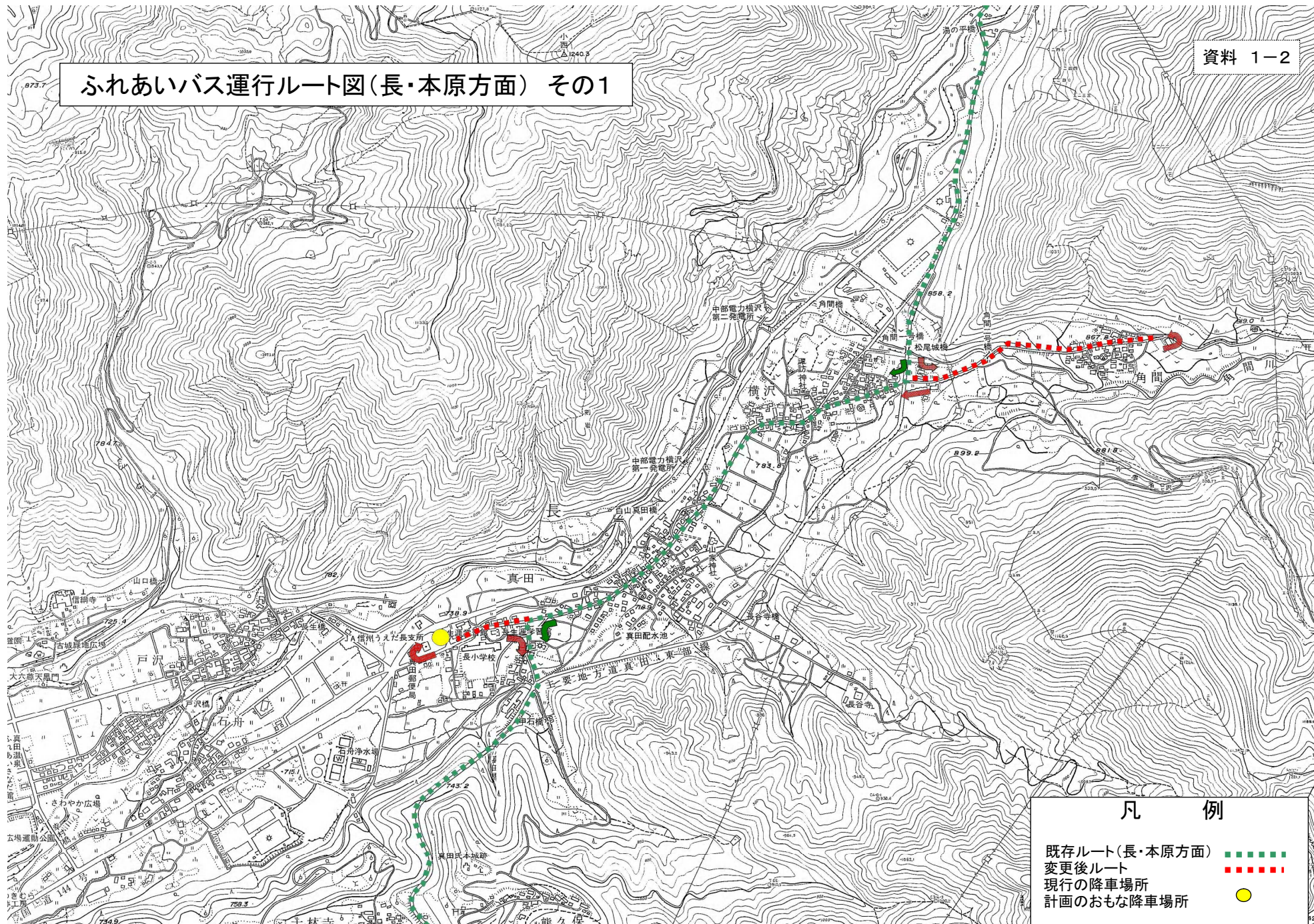
ふれあいバス運行ルート図（傍陽方面）



凡 例

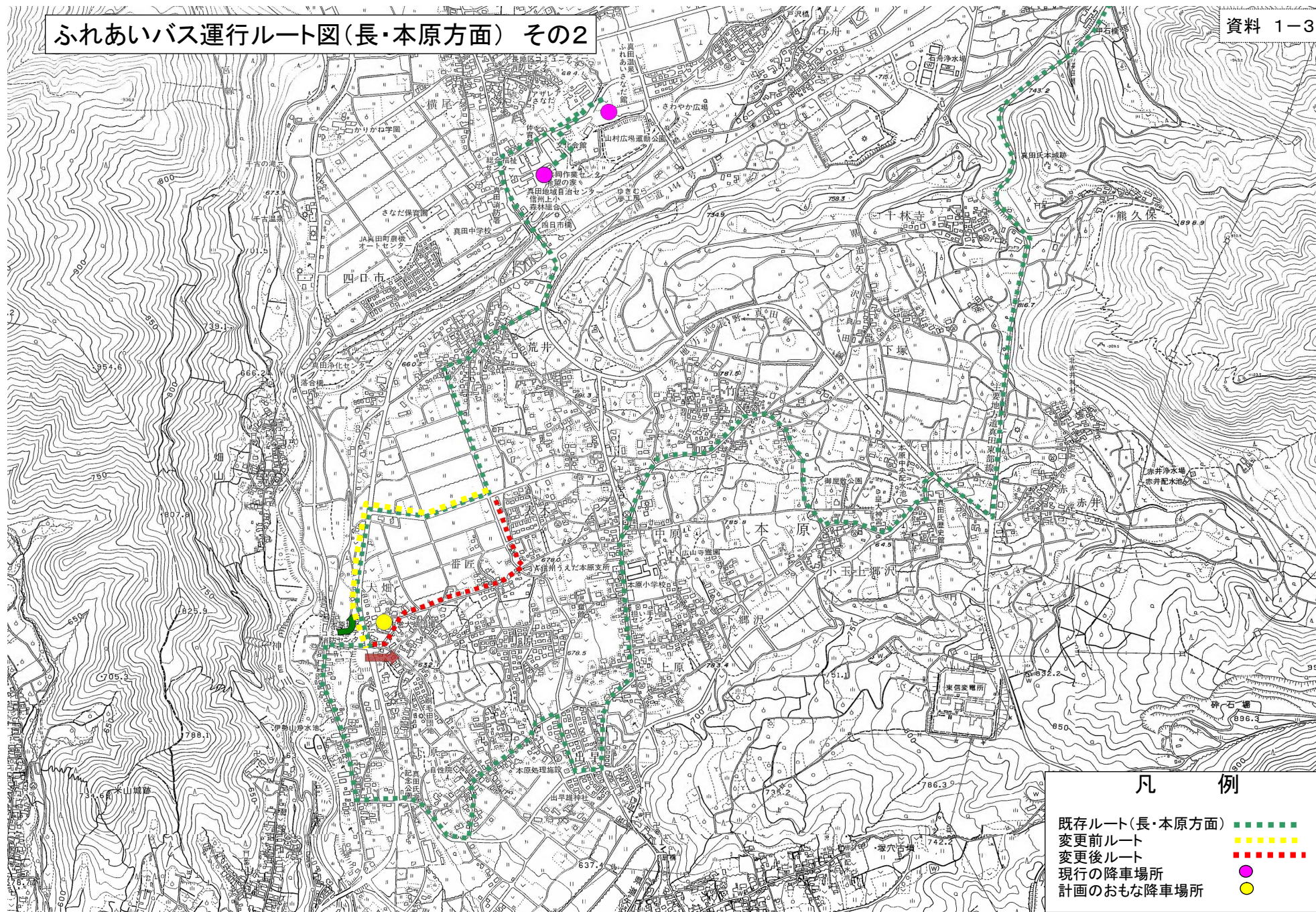
- 既存ルート（傍陽方面）
- 変更前ルート
- 変更後ルート
- 現行の降車場所
- 計画のおもな降車場所

ふれあいバス運行ルート図(長・本原方面) その1



ふれあいバス運行ルート図(長・本原方面) その2

資料 1-3



凡 例

- 既存ルート(長・本原方面) ■■■■■
- 変更前ルート ■■■■■
- 変更後ルート ■■■■■
- 現行の降車場所 ●
- 計画のおもな降車場所 ●